

請 願 文 書 表

蒲郡市議会 平成28年6月定例会

受 理 番 号	1
受 理 年 月 日	平成28年5月30日
件 名	安全・安心の医療実現のため、地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求め、「地域医療構想」策定における慎重な審議を求める請願書
請 願 者 の 住 所 及 び 氏 名	蒲郡市三谷北通三丁目149-2 清 水 芳 卓
請 願 の 要 旨	<p>○請願の趣旨</p> <p>3月に開催された「県医療審議会」において見直しされた愛知県「基準病床数」では、東三河北部医療圏は、既存病床数と新基準病床数の差引は△17床のオーバー病床、東三河南部医療圏は、差引△140床のオーバー病床となっています。一方、県が検討している「地域医療構想」における2025年の「必要病床数」は東三河北部圏域では、△270床（オーバー率50%）、東三河南部圏域△1,482床（オーバー率22%）という必要病床数検討素案が公表されています。中でも、東三河北部圏域では、高度急性期は19床足りないものの、急性期は△143床（オーバー率58%）も過剰と見込む。東三河南部圏域では高度急性期△374床（オーバー率41%）、急性期△883床（オーバー率35%）という必要病床数案が示されています。現状における「基準病床数」と2025年の「必要病床数」がかくも大きな差異となること自体、地域住民に将来の医療の確保について大きな不安を掻き立てる数値が示されました。</p> <p>およそ、10年先の必要病床数を見越すこと自体が難しい将来予測であるとともに、その見込み数がかくも大きな削減を必要とする「必要病床数」であるとしたなら、地域の医療ニーズに十分応じることができなくなるばかりか、医療機関の経営基盤を揺るがすとともに、医療従事者の雇用機会の制限・喪失をもたらし、結果的に地域の医療提供体制を崩壊させることにつながりかねません。</p> <p>よって、「地域医療構想」および「必要病床数」の検討に当たっては、慎重な審議とともに、地域住民への計画内容の説明と意見集約など、住民意見を十分反映した計画となるよう以下の対応を請願します。</p> <p>○請願事項</p> <p>1. 「圏域の地域医療構想及び必要病床数策定」については、圏域会議のみの検討ではなく、広く住民に内容（案）を説明し、意見を集約する「タウンミーティング」等を開催し、原案の段階で住民の意見を聞き、尊重した計画案を策定すること。</p> <p>2. 「地域医療構想」を策定する愛知県に対し、慎重な審議と、地域の医療提供体制を維持し発展させる計画を策定するよう「意見書」を採択し提出すること。</p>
付 託 委 員 会	文教委員会
紹 介 議 員 氏 名	日恵野 佳代